



はこべら

元気が出る学校



三日間の登校日を経て、いよいよ二期が始まりました。始業式では、二期も「響かせよう響き合おう」を合言葉に、みんなの声が響き合う学校にしたいという話をしました。「あいさつ・返事」「発表」を本物にしていきます。後退することなく、一学期の「できる」に積み上げていくことを確認しました。

併せて、東小を「元気が出る学校！」にしたいという話をしました。「学校が、楽しくて、ワクワクするところだったらいいな。」「明日もいきたいなと思えるところだったらいいな。」「いやなことがあっても、先生や仲間と過ごすことで、元気が湧いてくる場所だったらいいな。」と思います。そのためには、みんな元気になるように、一人一人が思いやりをもつことが必要です。また、学校は勉強をするところなので、勉強も楽しくて、元気が出る時間でなければいけません。先生たちは、勉強が楽しくなるように、みんなのために頑張ることを誓いました。

しかし、元気が出る楽しい勉強は、自分でつくるものです。子供たちも授業に積極的に参加して、勉強を楽しんでほしいと思います。新しいことを知ったり、発見したり、できるようになることを楽しんでいける子供たちに育ってほしいと願っています。

東っ子の学力

四月に実施された「県学力調査」「全国学力学習状況調査」の結果について、お知らせします。

「県学力調査」は五年生が対象です。東小は「国語」「算数」「理科」全て県平均を上回りました。特に「国語」は県平均を大きく上回りました。「知識・技能」だけでなく「思考・判断・表現」についても正答率が高く、基礎基本だけでなく活用する力も付いていることがうかがえます。

「全国学力学習状況調査」は六年生が対象です。この調査についても、「国語」「算数」共に、県及び全国平均を上回りました。六年生においても、「知識・技能」だけでなく「思考・判断・表現」についてもよく力を付けていることがわかります。

五年生、六年生ともに、領域別、観点別にみても良好な結果であり、昨年度同様、無回答率が低いのが特徴です。しかし、さらに細かく分析を進めると、国語科においては「自分の考えを整理して書く」こと、算数科においては「図形領域」に課題がありました。これらの分析をもとに、これらの課題は、東小全体の課題と捉え、全学年、全ての教科で改善を図っていきます。

児童質問紙調査の回答状況もお知らせします。「学習態度・生活習慣」等は良好な結果でしたが、「自己肯定感」が若干低く、少し消極的な面がうかがえました。学校行事や学級活動等を通して、自己決定を大切にしながら、成功体験を積みませ自信を付けさせていきたいと思っています。

※東小HPの「東っ子学びコーナー」に県学力調査の詳細の考察をUPしています。家庭学習のヒントもありますので、ぜひ参考にしてください。

区画整理工事が進んでいます

現在、学校周辺は区画整理の工事が進んでいます。九月四日の午後二時に萬行寺のお墓付近から新道へつながる道路が開通します。これに伴い、通学路が変わります。関係の児童、ご家庭には詳細を連絡していますが、皆様もお知りおきください。

この道路の開通に伴い、学校周辺の流れが変わると共に、交通量が増えるのではないかと予想しています。また、今後とも工事が進むたびに、その状況が変わっていくものと考えられます。

子どもたちには「自分の命は自分で守る」を言葉に、自分で考え行動するように指導しています。この機会にご家庭でも「交通ルールを守ること」「安全確認を怠らないこと」「慌てず落ち着いて行動すること」「見守ってください」の方々に感謝すること」等ご指導くださるようお願いいたします。

ようこそ山本先生・寺中さん！

三年一組担任の瀬戸先生が八月二十二日から産休に入ったことに伴い、これまで非常勤講師として本校で勤務していた前野先生が二期から担任を務めます。前野先生の代わりには、山本起由先生が着任されました。山本先生は三年生の図工、二年生の算数ITを担当します。また、校内の消毒等を担当するスクールサポートスタッフとして寺中恭子さんが着任されました。どうぞよろしくお願いたします。